

## 令和6年第12回教育委員会会議

### 1 日 時

令和6年10月17日(木)

開会 14時00分

閉会 14時45分

### 2 場 所

県庁行政庁舎 17階 教育委員会室

### 3 出席者

北野喜樹教育長、新屋長二郎委員、眞鍋知子委員、新家久司委員、高野勝委員、辻奈穂子委員

### 4 説明のため出席した職員

原敬教育次長、塩田憲司教育次長、金子俊一教育次長、北島公之教育次長兼学校指導課長、筒井諒太郎事務局課長、山本一彦庶務課長、高倉英明教職員課長、岩木智子生涯学習課長、池田正明文化財課長、瀬戸博邦保健体育課長

### 5 議案件名及び採決の結果

議案第36号 令和6年度石川県優秀教職員の決定について（原案可決）

### 6 報告

報告第1号 令和6年度いしかわマスター教員の認定について

報告第2号 令和7年度石川県公立学校教員採用候補者等の選考結果について

報告第3号 いしかわ産業教育フェア2024の概要について

報告第4号 2027いしかわ総文1000日前PRイベントについて

### 7 審議の概要

#### ・開会宣告

北野教育長が開会を告げる。

#### ・会議の公開・非公開の決定

議案第36号及び報告第1号は人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき非公開とすることを全会一致で決定。

#### ・質疑要旨

以下のとおり。

報告第2号 令和7年度石川県公立学校教員採用候補者等の選考結果について  
(高倉教職員課長説明)

「令和7年度石川県公立学校教員採用候補者の選考結果について」につきまして、ご説明申し上げます。

お手元の資料6ページをご覧ください。

はじめに、「1 候補者数」にある教諭、養護教諭、栄養教諭についてですが、表の合計欄に太字でお示ししてあるとおり、受験者総数858人の中から、採用候補者として318人を選考いたしました。

最終的な競争倍率は、昨年度より0.3ポイント減の2.7倍となりました。

採用候補者318人の内訳は、小学校教諭が140人、中学校及び高等学校教諭が144人、特別支援学校教諭が26人、養護教諭が5人、栄養教諭が3人となっております。

中程の表をご覧ください。

昨年度より実施しております特別選考区分C「大学3年生を対象にした選考」では、126人が受験をし、72人が基準に到達しました。

また、昨年度、この特別選考で基準に到達した32人のうち、29人が受験した特別選考区分Dでは、20人を採用候補者として選考いたしました。

次に、今後の退職状況を見据え、5年ぶりに実施しました理療科教諭の選考試験につきましては、3人が受験し、2人を採用候補者として選考いたしました。

では、7ページをご覧ください。

受験区分及び中・高等学校の教科別、特別支援学校の学部別等における、採用候補者の内訳や倍率については、こちらの表をご覧ください。

表の下に記載しておりますが、採用候補者318人における男女の割合は、男性が161人で50.6%、女性が157人で49.4%となっております。

また、来春、大学または大学院卒業見込みのいわゆる「新卒者」は153人であり、採用候補者全体の48.1%となっております。

そのうち、いしかわ師範塾の受講者は109人で、新卒者の71%となっております。

一方、今年度より特別選考区分A「講師として勤務する受験者を対象とした選考」を新設しましたが、県内国公立学校で勤務する講師の方を対象に、昨年度の選考試験において、筆記試験のうち総合教養の基準に達した方について、今年度の総合教養試験を免除したところ、238名が受験し、そのうち74名が採用候補者となっております。

全体として、講師経験者の割合は、採用候補者全体の40.3%で、昨年度の34.9%より、5.4ポイント上昇しており、特別選考区分Aの新設が、講師として勤務していただいている方の負担軽減につながり、採用候補者全体における講師経験者の割合が上昇した一因となっているのではないかと考えております。

なお、昨年度に引き続き、今年度の選考試験においても受験者が0人であった教科「福祉」につきましては、採用候補者を確保するため、今月の15日から31日まで追加募集を行い、11月24日に、金沢伏見高等学校において選考試験を実施し、12月6日に結果の発表・通知を行うこととしております。

資料6ページにお戻りください。

「2 結果発表等」につきましては、先月末の9月27日午後3時に、採用候補者の受験番号を県教委のホームページ等で公表するとともに、全受験者あてに結果を発送したところであります。

「3 今後の予定」につきましては、採用内定者に対して、11月から2月までの間に、いしかわ師範塾による採用前研修を2日間にかけて実施することとしており、採用内定者が4月から自信と熱意を持って教師生活をスタートできるように取り組んで参ります。

#### 【質疑】

(新屋委員)

選考区分のCとDに関連してですけど、大学3年生のときに基準到達した方が32名いらっしゃって、そのうち29名が受験されて、今年度に合格された方が20人ということですが、去年到達していたのに受けなかった3名は、こういった理由で受けなかったのですか？

それと、3年時でも到達していたはずなのに、9名が合格されなかったというのは、何が駄目だったのでしょうか。

(高倉教職員課長)

まず32名のうち2名、受けなかった3名のうち2名は、推進入試の方に変えて、そちらの方で出したということであり、あとの1名については委員おっしゃったとおり、今回は受けなかったということです。

もうひとつの29名のうち20名というのは、今回、4年生では面接試験、模擬授業と個人面接がありましてそちらの方で、選考した結果ということであります。

(新屋委員)

今年度、模擬授業なり面接で、基準に達してなかったということですけど、従来から石川県では面接に重きを置いていたと思うのですが、3年時の基準に到達するテストでは良かったけど、向いてなかったとまでは言えないかもしれないが、なんか面接とか、それがあまりにも良くなかったのか、とにかく合格レベルまではいってなかったということですけど、残りの駄目だった9名の方が再チャレンジされるのか、そういうことは何か分かっているのでしょうか。

(高倉教職員課長)

3年生のときの受験というのは、そこでは面接試験は行っていないわけで、3年のときは筆記試験、その基準をクリアした人が4年生に面接試験を受けることとなっています。そして今、駄目だった件については今後、講師等が出てきた段階ではっきりしたことになると思いますが、現時点ではちょっと情報をつかんでいない状況でございます。

(新屋委員)

そうすると今年駄目だった9名の方がもう1回来年度受験されるっていう場合はどういう試験を受けることになるのですか。

(高倉教職員課長)

今年駄目だった9名というのは、今年4年生で受けている学生です。駄目だった人は来年はまた1から一般の試験を受けることになります。

(眞鍋委員)

追加募集の福祉の教員ですが、これはどんな選考になるのでしょうか？

(高倉教職員課長)

普通の福祉の免許を持っている方で受験者がなかなか出てこなかったのも、介護福祉士の免許を持っていて、実務経験のある方を対象に、特別免許状による選考になります。

(眞鍋委員)

教員免許を持っていなくても、介護福祉士の実務経験があれば、受験資格があるということですか？

(高倉教職員課長)

基準条件を満たしている方は受けてもらって、専門の面接の方に見ていただいて、ということです。

(眞鍋委員)

そうすると結構対象になられる方はたくさんおられるような気がしますけれども。

(高倉教職員課長)

さっそく15日から受付を開始しておりますが、その事前段階でも、電話で質問してきている方が何人か来ています。期待はしているところですが最終的にどうなるのかは分かりません。

(眞鍋委員)

より良い方が追加募集で採用できたら良いなと思いました。ありがとうございました。

(新屋委員)

もう一つお願いします。

7ページの資料ですけど、倍率がかなり低下してきて、ちょっと厳しい状況かなと思いましたが、なかなか年々というか、工夫はされていると思うのですが、いかんともしがたい面があるのかなと思って見っていますが、その中で、工業ですが、数年前に非常に厳しい状況にあって、いろいろやってたと思うんです。今年なんか他の教科もだんだん下がってきたのと比較してみると、工業は割と、人数がそれなりに確保できているように感じますが、今はどういう状況なのか。

(高倉教職員課長)

工業におきましては、大学推薦を導入しましてから、特に金沢工業大学の方からは毎年のように優秀な学生を出していただいている。それが定着して、推薦以外にも優秀な学生が受験してくれるようになっていきます。そんな多くはないですが年々安定した受験者が出てきているということです。

(新屋委員)

他の教科でも競争倍率の低い教科でもそういうようなことができるようなことがあればそういうことを検討されたらと思います。

(新家委員)

何年か前に質問したことがあるのですが、面接重視っていう話をされたんですけど、なかなか今面接でいろんな質問できない時代なので、失礼な言い方かもしれませんが、教職員の方の犯罪行為みたいなものがあったり、何年か前には適性検査、学科試験と面接だけでなく、適性検査のことを頭に入れられたらどうかということで実際やられているみたいなんですけども、その概要をちょっと教えていただければありがたいのですが。

(高倉教職員課長)

面接試験、やはり皆さんこのために一生懸命練習してきていますので、ほとんどの方が上手に対応していますが、やはりその中でもちょっと突然の質問とかすると、やはり素が出てしまうこともあり、そのようなところも見ながら、面接の試験で評価しておりますが、適性検査におきましては、以前の適性検査ではなく、Y G P Iという適正検査を実施しておりますが、その中で検査することによって、受験者の特徴、社交的・外交的とか内向的とかそういうものがいろいろ出てきますので、そういうものを参考にしています。

(新家委員)

その適性検査で不採用にするっていうことはまず有り得るんですかね。

(高倉教職員課長)

そこはいろんな様々な判断をしております。

## 報告第3号 いしかわ産業教育フェア2024の概要について（北島次長兼学校指導課長説明）

報告事項「いしかわ産業教育フェア2024」について、ご説明いたします。

お手元の資料をご覧ください。

開催の目的は、産業教育を学ぶ高校生に誇りと自信を持たせ、その情報を発信する好機とするとともに、中学生等に産業教育の魅力を伝えることです。

開催日時は、10月26日（土）10：30～16：50、会場は、イオンモール白山です。

タイムスケジュールについては、まず、オープニングセレモニーとして、10：20より金沢商業高校のチアリーディング部がパフォーマンスを披露いたします。この後、専門高校等の活動紹介するオープニングセレモニー動画を巨大スクリーンに投影します。

その後、10：30より開会式を行い、式が終了次第、ステージにて各企画を行います。

次に、各エリアの取組についてご紹介します。

A3のカラーの資料をご覧ください。

資料の左側のステージエリアでは、開会式後の11：00から今年度の新規企画であります、専門高校生7人が専門高校の魅力を発信する専門高校生パネルディスカッションを行います。

その後、12：00から、ステージ企画として、工業部会の金属コマ回し大会等、看護・福祉部会の手話体験、商業部会の石川の観光地紹介、農業部会の農業クイズなどの取り組みを行います。

14：00からは、各専門部会の研究成果発表を行い、15：30から「いしかわの産業教育の取組」として、次世代の地域産業を担う人材育成事業における中間報告と、いしかわ高校生グローバル人材育成推進事業における留学成果の発表を行います。

ステージエリア以外では、資料の右下にお示ししました展示エリアが2階にあります。各校紹介パネルについては、開催1ヶ月前からすでに展示をしており、フェアの宣伝活動を兼ねております。

次に、資料の右上にある体験エリア①についてです。

専門部会体験ブースでは、各専門分野の特徴を活かした体験内容を来場者に体験してもらうことで、各専門高校の特性を理解していただきます。

具体的には、農業部会の苔玉づくり、工業部会の電子工作教室、商業部会のVR観光体験、水産部会のロープワーク体験、看護部会のちびっこナース体験、福祉部会のハンドケア体験、特別支援部会のマッサージ体験を行うことができます。

その下にある体験エリア②についてです。

小学生を対象に、イオンモール白山にある協力店舗の仕事を模擬的に体験するお仕事体験を行います。また、1階の西コート、東コート、かがやきステージの3カ所でスタンプラリーを実施します。

次に、中央にある販売エリアについてです。

生徒が育てた農産物や、生徒が考案した商品を、実習も兼ねて生徒が販売いたします。昨年度販売スペースが狭いという意見があったことから、今年度は販売スペースが広くとれる中央のかがやきステージに変更しました。

フェア当日は、主役となる高校生はもちろん、子供から大人まで、幅広く楽しんでいただけるフェアにしていきたいと考えております。

**【質疑】**

(新家委員)

以前は産業展示館でやっていた。3年前4年前もそうですね。あのとき確か、中学生に対して、送迎のバスも出ていたと記憶していますが、イオンモール白山になってからは親と一緒に来ないと来られないっていうふうな形だと理解していますが、それでいいですか。

(北島次長兼学校指導課長)

我々としても中学生にはぜひ来てほしいというふうに思っております。今、各中学校、白山、野々市、金沢の各中学校を回って、こういうことあるよっていうふうにチラシを基に宣伝しているところです。その宣伝をしているときに、バスのことなんですけども、バスは確かに無料で手配ということはできないんですけども、金沢駅からイオンモール白山まで180円で乗れる直通のバスがございます。

こういったバスが結構一日何便もあることから、それについて合わせてPRしているところでもあります。

(辻委員)

体験エリア1というのは予約制ではなく飛び込み参加もできますか。

(北島次長兼学校指導課長)

おっしゃるとおり飛び込みで参加できます。

(辻委員)

各部門で何人くらい参加できるのですか。

(北島次長兼学校指導課長)

人数制限は特にごさいません。とりあえず空いている部分が多いところがあればそこに入っただけであれば結構ですし、中には人気のあるところも昨年を見ましたら、人気があって少し行列に並んでいるところもありますけれども、基本的には人数制限はございませんので、フリーでございます。

## 報告第4号 2027いしかわ総文1000日前PRイベントについて（北島次長兼学校指導課長説明）

報告事項「2027いしかわ総文1000日前PRイベントの概要」について、ご説明いたします。

まず、全国高等学校総合文化祭につきましては、令和9年7月下旬に、本県での47年ぶり2回目の開催が内定しております。

この文化祭は、全国の高校生による国内最大規模の芸術文化の発表の場であり、文化部のインターハイともよばれており、皇族のご臨席を賜り開催される総合開会式やパレードのほか、演劇や書道など22部門に、全国から約2万人の高校生が参加し、舞台発表や作品展示、競技が行われます。

文化祭の企画・運営は、開催県の高校生が主体となっており、昨年度、高校文化部の代表生徒で構成する「生徒準備委員会」を立ち上げ、文化祭の準備に取り組んでおります。

生徒準備委員会の活動状況につきましてご説明いたします。別紙をご覧ください。

まず、開催4年前にあたる令和5年度は、「大会基本方針」について検討し、石川の伝統文化や自然をキーワードに「彩る」「もてなす」「結ぶ」を大会基本方針としました。

今年度は、大会テーマを3、282点の応募の中から「はじける創造 彩れ未来 いざ百万石の地へ」に決定いたしました。また、大会イメージカラーについては、石川の文化芸術や自然をイメージした「朱色」「金色」「墨色」「若草色」「水縹色（みはなだいろ）」の5色とし、大会愛称については、「2027いしかわ総文」に決定いたしました。

そして、今回ご報告する1000日前PRイベントについても、生徒準備委員会の生徒が主体的に企画内容を考え、当日の運営を行います。

なお、今後の文化祭準備につきましては、来年度、文化庁の開催決定通知を受けて、「実行委員会」を立ち上げまして、総合開会式の内容検討や広報活動等に取り組んでいくこととしており、開催1年前にあたる令和8年度には、プレ大会の開催も予定しております。

それでは、前のページに戻っていただき、PRイベントの概要についてご説明します。

「開催目的」については、県民のいしかわ総文への理解の促進と開催気運の醸成を図るとともに、3年後の開催時に高校生として携わることになる現在の中学生に対して、高校文化部活動に興味や関心を持ってもらうことを狙いとしています。

「日時」は、10月19日（土）13時から16時、「会場」は、イオンモール白山で行うこととしております。

「イベントの概要」をご覧ください。

ステージ発表として、金沢二水高校による書道パフォーマンスや北陸学院高校によるハンドベル演奏を披露するほか、生徒準備委員が3年後のいしかわ総文や高校文化部の魅力をPRします。

また、文化体験として、誰でも簡単に立体的な絵を描くことができる「重曹アート制作体験」や、「小倉百人一首かるた体験」、「楽器体験」など、様々な体験メニューを用意しており、いずれも文化部に所属する高校生が体験をサポートします。

このほか、2027いしかわ総文において実施する22部門を知ってもらうための紹介パネルの展示を行います。

なお、お手元のPRイベントのチラシは生徒準備委員会の広報班が作成したものです。ステージ発表のタイムテーブルやフロアマップを記載しております。また、学校指導課のホームページに生徒たちが作成したPRイベント告知動画を掲載しておりますので、お時間のある時にご覧いただければと思います。

**【質疑】**

(眞鍋委員)

生徒準備委員会というのは各学校に募集をかけて集まった生徒達ですか。

(北島次長兼学校指導課長)

はい。そうでございます。

特に各学校それぞれ文化部を持っておりますので、その文化部の主な代表者というかそういったところから生徒を募っております。

(北野教育長)

以降の審議は非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

議案第 36 号 令和 6 年度石川県優秀教職員の決定について

高倉教職員課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

報告第 1 号 令和 6 年度いしかわマスター教員の認定について

高倉教職員課長が説明した。

- ・ 閉会宣言

北野教育長が閉会を告げる。